

## GCMにおける ENSO シミュレーション：レビューと近年の進展 ENSO simulation in GCMs: A review and recent progress

渡部 雅浩<sup>1\*</sup>  
Masahiro Watanabe<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> 東京大学大気海洋研究所  
<sup>1</sup> AORI, The University of Tokyo

全気候モデル (GCM) における El Nino-Southern Oscillation (ENSO) のシミュレーションは、近年改善が著しい。しかし、依然として ENSO の振幅にはモデル間で大きなばらつきがあり、最近の CMIP5 でも本質的には変わっていない。このことは、ENSO の複雑なフィードバックの誤差要因を詳しく理解する必要性を示している。一方で、ENSO が過去どのように変遷してきたか、また将来の温暖化した気候で変化するか否かは社会的にも大きな問題であり、不完全な GCM を用いてこの疑問にどこまで答えることができるかは、まさに我々研究者の腕の見せ所である。本公演では、こうした GCM における ENSO の特徴を簡単にレビューし、ENSO の変化について最近の研究成果を紹介する。

キーワード: GCM, ENSO, 温暖化  
Keywords: GCM, ENSO, Global warming